

魔法の本

みなさんは、魔法を信じますか？ 魔法とは、ふつうの人間にはできないような不思議な現象を起こす術の事です。今回は、そんな「魔法」の本をあつめました。魔法のじゅうたんやほうき、なんと郵便ポストまで、不思議な術や道具が登場するお話のほか、魔女になるための図鑑なども紹介します。あなたも魔法使いになれるかも？本を読んで、不思議な世界へ出かけてみませんか。

★は1・2ねんせいくらい、★★は3・4年生くらい、★★★は5・6年生くらいを目やすに、おすすめしているというしるしです。

紹介した本は、新座市の中央図書館、福祉の里図書館、分館でかりられます。みなさんどうぞ読んでみてください。

図書館 HP

にいざ電子図書館



2023. 12 NO. 73

にいざしりつちゅうおうとしょうかん

〒352-0011 新座市野火止1-1-2



まほうつかいとねこ ★

せなけいこ／作・絵 鈴木出版（えほんせ）

まほうつかいは、まんげつのばんのまほうつかいのあつまりに、あいぼうとしてほうきにのせていく くらねこをぼしゅうしました。しかし、やってきたのは ちいさなしろねこでした。そこで、まほうつかいは、くらねこにみせるため、くろいセーターをあんて、しろねこに きせました。ところがまんげつのばん、おどってあつくなったしろねこは、セーターをぬいでしまいます。

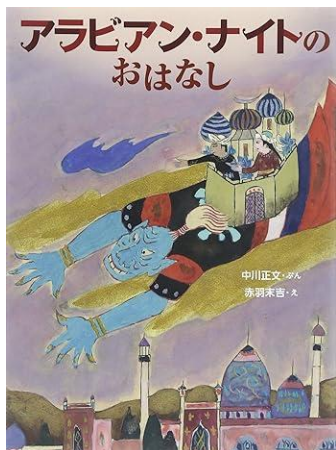


まほうのゆうびんポスト ★

やまだともこ／作 いうみき／絵 金の星社（913ヤ）

けんとかんが学校のかえりみちで見つけたのは、しましまもようのふしぎなはこ。そのはこは、手紙を入れると、住所をかいていなくても相手にとどく、まほうのゆうびんポストだったので。

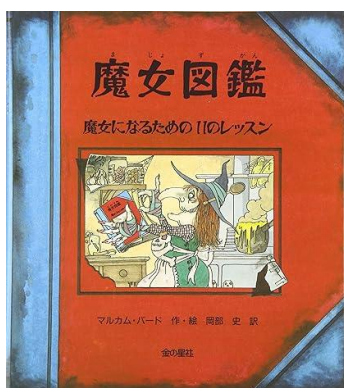
けんとかんが、転校した友だちやこわいおばけにまで手紙を出すと、へんじがとどきました。けんとかんはあやまりたい人がいることを思い出し、ついに手紙を出そうとけっしんします。すると、ふしぎなことがおこったのです。



アラビアン・ナイトのおはなし ★★

中川正文／ぶん 赤羽末吉／え のら書店（929ア）

なまけもののアラジンは、ある日、まほうのランプを手に入れました。ランプをこすると大男があらわれて、アラジンの願いどおりに、ごちそうや宝石をはこんできてくれるのです。ランプのおかげで、アラジンは王女さまとけっこうし、王さまの軍隊の司令官になって、てがらをたててたのしくくらしします。しかし、ランプをねらうまほうつかいが、アラジンからランプをうばいと、宮殿ごと王女を消し去ってしまいました。このお話をはじめ、アラビアン・ナイトの代表的なお話が3つ入っています。



魔女図鑑—魔女になるための11のレッスン— ★★

マルカム・バード／作・絵 岡部史／訳 金の星社（140バ）

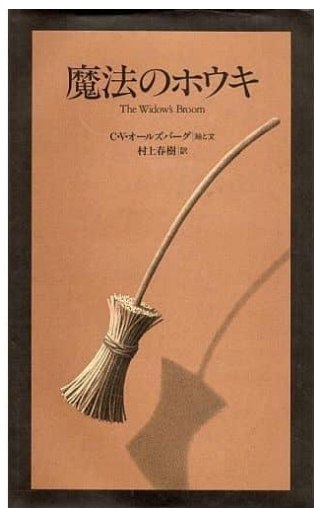
魔女について知りたいことを11のテーマ別に紹介している、魔女になりたい人のための入門書です。魔女の家や台所、庭など、魔女の暮らしぶりから、魔法のかけ方、空飛ぶほうきや、ちょっとあやしい料理の作り方まで、魔女になるための方法がたくさん載っています。この図鑑を読んで、立派な魔女を目指してみては。



魔女の宅急便その2 キキと新しい魔法 ★★★

角野栄子／作 広野多珂子／画 福音館書店（913カ）

港町で修行中の魔女のキキと黒猫のジジ。いいものを運ぶ人になりたくて始めた宅急便の仕事も2年目を迎えました。大繁盛の宅急便ですが、ある時「のろいの手紙」を運んだことをきっかけに、キキは迷いはじめます。宅急便の仕事を続けていていいのか、自分はこのまま魔女でいていいのか…。悩んだキキは、一大決心をして新しい魔女の薬を作ることにしました。映画にもなった「魔女の宅急便」の続きのお話です。シリーズは全部で6冊あります。



魔法のホウキ ★★★

C・V・オールズバーグ／絵と文 村上春樹／訳 河出書房新社（えほんバ）

はるか昔のある肌寒い秋の夜に、月の光に明るく照らされた空から、マントをまとった魔女が、くたびれたホウキといっしょに小さな農家のわきにどすんと墜落しました。その家に一人で住んでいたミンナ・ショウは、親切に傷だらけの魔女を家に運びこみました。傷の治った魔女は仲間の魔女といっしょに空へ戻り、あとには古いホウキだけが残されました。ところがそのホウキが自分で勝手に働きはじめたのです。